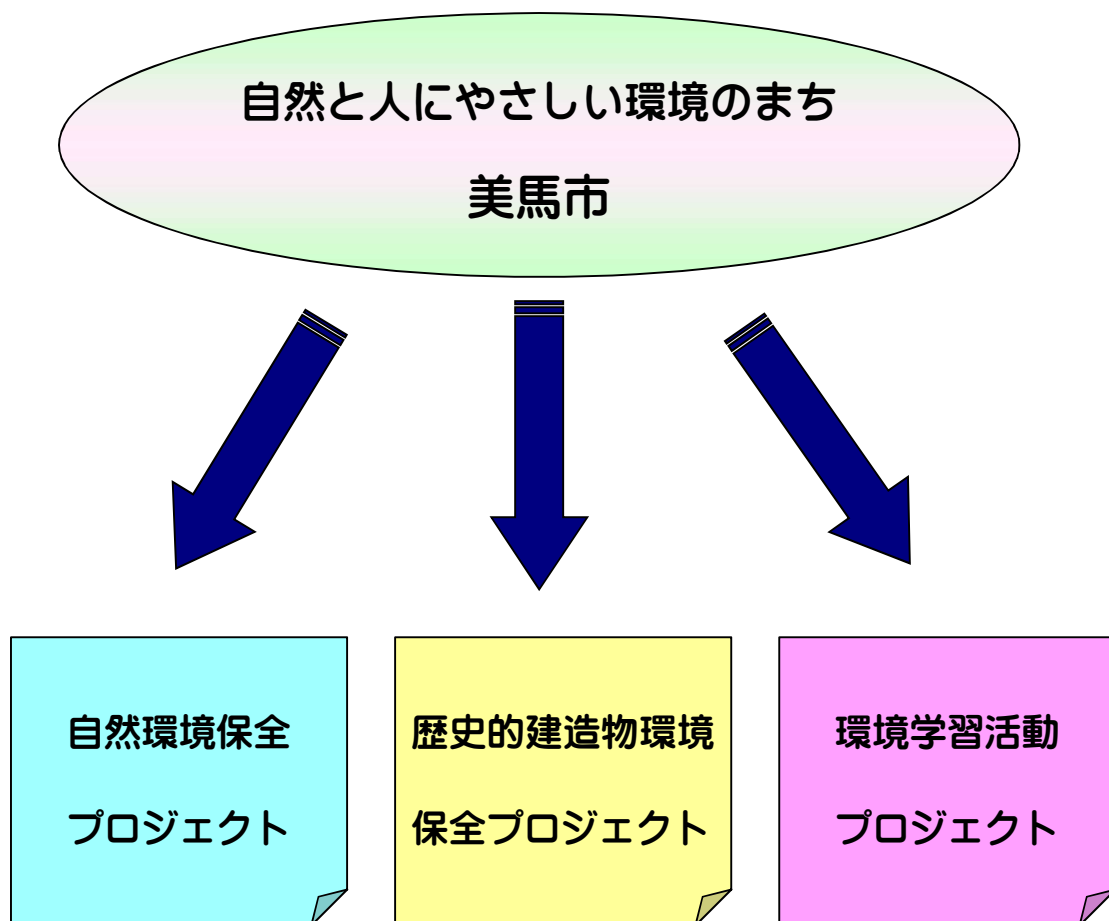


第5章 重点実施事業

環境問題を解決し、将来世代に良好な環境を引き継いでいくための課題には、今すぐ取り組むべき課題と、長期的な展望を持って取り組むべき課題があります。

本計画では、50年先を見通した長期的視点のもと、理想とする環境像である『自然と人にやさしい環境のまち』の実現にむけて、とくに緊急に取り組んでいく重点実施事業として、令和2年度から令和6年度にかけて、3つのプロジェクトを推進していきます。



自然環境保全プロジェクト

本市の美しい山々や市の中心を流れる吉野川、日本一の清流穴吹川、国の登録有形文化財デ・レイケの堰堤がある大谷川など、本市の豊かな自然は、市民の生活基盤であると同時に「郷土の誇り」です。

そのすばらしい自然環境を後世に引き継いでいくため、自然環境の保全を図るとともに、自然と安心して触れ合える場所づくりを進めます。

○ 山や河川的环境保全・活用

- ・ 山や河川へのごみの不法投棄、ポイ捨てをさせない取り組みとしてパトロール体制の充実等、監視体制の強化を推進します。
- ・ 山間部や河川周辺での無秩序な開発行為を防止します。
- ・ 美しい山々やきれいな水環境を美馬市の魅力として来訪者に提供するための場所づくりを進めます。
- ・ 里山や河川の良好な環境を守るため、市民等に協力を呼びかけ、ボランティアによる維持・清掃などを継続して実施します。

○ 協力体制の充実

- ・ 市民やボランティア団体、学校、企業などと連携し、地域全体で自然環境の保全活動を推進できる体制をつくります。
- ・ 美しい自然環境を活かし、来訪者に提供するためのネットワークづくりを進めます。

歴史的建造物環境保全プロジェクト

脇町の中心に位置し観光拠点である「うだつの町並み」や、いくつものお寺が建ち並び歴史散策を愉しめる美馬町の「寺町」など、本市には歴史的建造物が建ち並ぶ地区が存在します。その歴史的建造物地区の環境保全を進めます。

○ 歴史的建造物地区の環境保全

- ・ 歴史的建造物地区の環境保全を計画的に進めます。
- ・ 観光拠点である歴史的建造物地区を、もう一度訪れたいと思える場所へと魅力を高める取り組みを進めます。
- ・ 歴史的建造物地区に居住する市民及び観光ボランティアガイドとともに、環境保全に関する意見交換等を行い連携した環境保全活動を進めます。

○ 『FACE美馬』活動の推進

- ・ 市民においても、また市外から訪れる人に対しても、歴史的建造物地区が美馬市の環境保全の顔となるよう、環境保全活動「FACE美馬」に取り組みます。
「F」…（FUTURE）未来
「A」…（ACTION）行動
「C」…（CONSERVE）保護
「E」…（ECOLOGY）調和
- ・ 歴史的建造物地区での、ごみのポイ捨て・歩行喫煙の禁止など、環境ボランティアガイドを設置し指導を行います。

環境学習活動プロジェクト

「自然と人にやさしい環境のまち」づくりを実現するための教育・学習に関する取り組みを推進していきます。

○ 環境学習の推進

- ・ 学校教育において子ども達が実際に触れ、体験できる環境学習を充実させるために地域人材を積極的に活用し、地域と連携した学校教育を進めます。
- ・ 環境学習活動普及のためのハンドブックやパンフレットを作成します。

○ 環境認定制度の推進

- ・ 感性豊かな子どもたちの育成活動を進め、自然環境やごみ問題について正しく認識し、高い環境意識を持つ人材育成をはかります。
- ・ 本市内の全ての幼稚園・小学校・中学校・高校を対象とします。
- ・ 専門家や教育関係者（教育委員会・学校長等）による、環境認定制度の仕組みや基本的な考え方、カリキュラム案等の検討、明確なガイドラインの作成を行います。

○ 環境教育・学習活動拠点の活用と整備

- ・ 「クリーンセンター美馬」や美馬町の「水辺の楽校」などの既存施設を活用した環境教育・学習活動を進めるとともに新たな拠点施設の整備を模索します。